

平成 20 年 3 月 17 日

各 位

東京都港区南青山五丁目 4 番 35 号
 株式会社リンク・セオリー・ホールディングス
 代表取締役社長 佐々木 力
 (コード番号：3373 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役グループ CFO 大西 秀亜
 TEL 03-3407-7502(代表)

平成 20 年 8 月期中間期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 10 月 10 日に公表した平成 20 年 8 月期中間期（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 8 月期中間期（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）業績予想数値の修正

【連結】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想(A)	32,950	825	△145	25	164.90
今回修正予想(B)	31,045	1,390	430	345	2,171.01
増減額(B-A)	△1,905	565	575	320	—
増減率	△5.8%	68.5%	—	1280.0%	—
(ご参考) 前期(平成 19 年 8 月 期中間期)実績	29,610	114	420	△4,640	△30,672.50

【個別】

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想(A)	1,509	835	978	199	1,312.60
今回修正予想(B)	1,483	875	1,020	510	3,209.32
増減額(B-A)	△26	40	42	311	—
増減率	△1.7%	4.8%	4.3%	156.3%	—
(ご参考) 前期(平成19年8月 期中間期)実績	1,051	518	683	△5,263	△34,787.95

2. 修正の理由

【連結業績予想修正の理由】

売上高は、各地域の市況悪化の影響を受け前回予想を下回る見込み（計画未達額は日本事業：5.1億円、米国事業：6.0億円、欧州事業：6.6億円）ですが、在庫コントロールの強化等を通じた日米欧各地域における粗利益率の改善や全社的な経費の抑制により、営業利益は前回予想を上回る見込みであります（計画超過額は日本事業：2.5億円、米国事業：1.8億円、欧州事業：1.7億円）。米国子会社向け円建て親子ローンに関わる為替評価損（各期末時の為替レートにより評価。日本からの円建てロイヤリティーにより親子間で返済されるため、キャッシュフローへの影響なし）が計画を上回りますが、経常利益及び中間純利益も前回予想を上回る見込みであります。

【個別業績予想修正の理由】

営業収益は、期初の想定に比べて円高に振れたことに伴い、米国子会社からのドル建て配当金収入の円建て換算額が減少したために前回予想を下回る見込みですが、営業利益及び経常利益は経費コントロールの強化に伴い前回予想を上回る見込みであります。また中間純利益は、欧州事業の損益が予想を上回ったことに伴う追加引当額の減少等により、前回予想を上回る見込みであります。

3. 通期業績の見通し

平成20年8月期通期につきましては、米国における個人向け住宅融資問題に伴う米国小売市況の悪化等の不安定要因があることから、現段階では当該不確定要素も勘案し、平成19年10月10日に公表した通期業績予想（連結・個別）の修正はいたしません。

(なお、上記予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。)

以 上